(00141)

事務事業名称	まちの湯ふれあい入浴			款	04	項	01	目	02	事業	010	整理番号	150		
現担当課名	高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係					連絡先 電話番号 1164			4	昨年度 整理番号	156	
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援								2	予算	事業	区分	既定事	業		
事業開始	昭和49年度														
令和 3年度 担当課名	高齢者施策課								T I	事業詞	評価	区分	一般		

令和 3年度 事務事業の概要(PLa	n)	
対象 入浴事業は65歳以上の区民と付添者、健康事業は60歳以 上の区民	根拠 (1)	老人福祉法第4条第1項及び第13条第1項
	等 (2)	杉並区ふれあい入浴実施要綱 杉並区まちの湯健康事業実施要綱
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) ふれあい入浴を利用することにより、公衆浴場が、高 齢者同士の親睦を深め、社会参加や交流を広げることが	活動指標 指標名(1)	ふれあい入浴年間実施回数
できる憩いの場となるようにする。 まちの湯健康事業に高齢者が参加することを通じて、 リフレッシュはもとより、健康増進が図られ、介護予防 につながるようにする。	指標名(2)	まちの湯健康事業年間実施回数
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	指標説明	
ふれあい入浴:毎週水曜日(一部火曜日)に各浴場の決められた時間帯(3時間)に低価格(ワンコイン)で入浴を提供する。 まちの湯健康事業:月1回、手ぬぐい体操などの健康事業を行う。本事業は、長寿応援ポイント対象	成果指標 指標名(1)	ふれあい入浴年間延べ利用者数
健康事業を行う。本事業は、長寿応援ポイント対象 事業である。	指標説明	まちの湯健康事業年間延べ参加者数
	指標名(2) 指標説明	

指煙 **巡車業費・コスト押堀(Plan・Do)**

<u>1</u> E	<u>候、総事業質</u>	<u> </u>	くり出控	<u>(PI</u>	<u>a n • t</u>	ر ه ر				
	区分	単位	令和元年度	令和	2年度	令和	3年度	令和 4年度	令和 3年度	
	区方		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活	動指標(1) 1	回	939	1,005	477	988	861	3,536	87.1	76.7
活	動指標(2) 2	回	239	270	176	168	152	156	90.5	
成	果指標(1) 3	人	56,215	65,000	14,746	59,000	36,214	53,040	61.4	
成	果指標(2) 4	人	3,377	4,000	1,110	1,300	976	1,272	75.1	
事	業費 5	千円	36,841	27,235	20,047	36,831	28,253	37,728		<mark>事項</mark> ナウイルス
	(内)投資的経費等 6	千円	0	0	0	0	0	0	感染症拡大	
	(内)委託費 7	千円	36,828	27,093	19,978	36,810	28,233	37,699	業を中止し	ていました
職	常勤職員数(再任用含) 8	人	0.25	0.20	0.30	0.20	0.38	0.27		後も感染症
員数	上記以外の職員 9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	= 314 ~ Til m	を控えると
人	常勤職員分(再任用含) 10	千円	1,125	900	1,652	1,341	2,155	1,914	和3年度の	実績もコロ
件費	上記以外の職員 11	千円	0	0	0	0	0	0	ことから、 算執行残か	委託料の予
	事業費 12 10+11)	千円	37,966	28,135	21,699	38,172	30,408	39,642		-
	位当たりコスト 13 ^{2-6) ÷ 1)}	円	40,432	27,995	45,491	38,636	35,317	11,211		
	受益者負担分 14	千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等 15	千円	0	0	0	0	0	0		
財	都からの補助金等 16	千円	3,411	0	0	0	0	0		
源	その他の補助金等 17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	千円	3,411	0	0	0	0	0		
	差引:一般財源 19	千円	34,555	28,135	21,699	38,172	30,408	39,642		
	益者負担比率 20 4÷12)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度 事業実施状況(Do)

整理番号 150

	未大心がんしひり			
	内 容	規模	単位	事業費(千円)
) (TT/T	ふれあい入浴の実施	861		24,651
	まちの湯健康事業の実施	152	回	3,537
主な取組				
	その他(チラシ作成ほか)			65
事業実績	ふれあい入浴の実施浴場数は17か所で、1回あたりの平均利用者数まちの湯健康事業の実施浴場数は13か所で、152回実施し参加者数	は42.1人です。 は976人でした。	0	

令和 3年度 評価と課題(Check)

事業開始当初から現在 までの環境の変化と 事業に対する意見 (期
待・要望・苦情など)

区内の公衆浴場は、昭和49年度の111か所から減少し続けて、令和3年度は19か所になりました。 ふれあい入浴については、「自宅にお風呂があっても、銭湯のほうが気持ちよい」「風呂掃除が辛 くなったので有り難い」「指定の曜日・時間帯に行くことは難しいので、いつでも利用できると嬉し い」などの声が寄せられています。

まちの湯健康事業は、「参加者の多い日は、体操に必要なスペースを確保できない」との声があり、令和2年度から各浴場に見合った定員数を決めました。

事業の今後(3~5年) の予測と方向性

ふれあい入浴は、いつでも利用できると嬉しいという区民の声を踏まえ、令和4年度から実施日時の拡大を図ることとしており、利用者の増加が予想されます。 まちの湯健康事業は、浴場の活動スペースに見合った体操の実施を講師の方と考えます。

計画(目標値)に対す る実績 (指標の分析等)

ふれあい入浴の1回あたりの平均利用者数は、コロナ禍以前は概ね65人程度でした。令和2年度は30.9人に減少しましたが、令和3年度は42.1人と回復傾向にあります。

まちの湯健康事業は、ほぼ計画通りの参加者数になりました。

評価と課題

令和4年度からの実施日時の拡大に向けて、令和4年1月から試行的に始めた利用日時の一部拡大の結果、利用者の増加が確認できたことから、令和4年度からは、平日営業時間にふれあい入浴を実施することとし、利便性をより高めた事業としていきます。

<u>令和 5年度の方針(Action)</u>

予算の方向性	事業コストの方向性	現状維持
(見直しの視点)	事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・ 内容	契約内容の見直しにより、 ます。	より効果的に予算を執行するように改定し、利用者の増加を図っていき

(00142)

事務事業名称	鼠呂っと杉並			款	04	項	01	目	02	事業	011	整理番号	151	
現担当課名	高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係					<mark>連絡先</mark> 1164 電話番号			4	昨年度 整理番号	157
上位施策No・施								13	予算事	[業	区分	既定事	業	
事業開始	平成13年度													
令和 3年度 担当課名	高齢者施策課							Ę	事業部	平価	区分	一般		

令和 3年度 事務事業の概要(Pla	n)	
対象 60歳以上の区民 (平成26年度より、対象年齢を「50歳以上」から「60歳 以上」に変更)	根拠 法令 等 (2)	杉並区風呂っと杉並事業補助金交付要綱
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 公衆浴場を、60歳以上の高齢者の自主グループに、い きがい・健康づくりなどの活動の場として提供すること で、高齢者の活動・交流を推進していく。	活動指標 指標名(1) 指標説明	風呂っと杉並事業を実施する浴場数
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) 区内の公衆浴場を、高齢者の健康活動の場として	指標名(2)	
区内の公衆浴場を、高齢者の健康活動の場として 60歳以上4名以上のグループに有料(利用料は浴場 によって異なる)で提供する風呂っと杉並事業(杉 並浴場組合自主事業)に要する経費について、運営 費を助成する。	成果指標 指標名(1) 指標説明	年間実施回数
	指標名(2) 指標説明	年間延べ利用人数

指煙 **巡車業費・コスト押堀(Plan・Do)**

<u> 1</u> E	<u>候、総事業質</u>	<u> </u>	くト把握	(PI	<u>a n • ı</u>	ر ه ر			ı	
区分		単位	令和元年度	令和	2年度		3年度	令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
	运 刀		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活	動指標(1) 1	所	8	10	5	9	4	9	44.4	40.4
活	動指標(2) 2									
成	果指標(1) 3	回	261	348	79	216	88	144	40.7	
成	果指標(2) 4	人	1,635	2,436	528	1,296	551	864	42.5	
事	業費 5	千円	2,709	1,987	557	1,393	563	997		
	(内)投資的経費等 6	千円	0	0	0	0	0	0	染症の拡大	ウイルス感により高齢 の活動自粛
	(内)委託費 7	千円	0	0	0	0	0	0	が続いたた が計画数に	め、実績数温がす執行
職	常勤職員数(再任用含) 8	人	0.25	0.20	0.30	0.20	0.24	0.18		ました。
員数	上記以外の職員 9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人	常勤職員分(再任用含) 10	千円	1,125	900	1,652	1,341	1,326	1,163		
件費	上記以外の職員 11	千円	0	0	0	0	0	0		
	事業費 12	千円	3,834	2,887	2,209	2,734	1,889	2,160		
	位当たりコスト 13 2-6) ÷ 1)	円	479,250	288,700	441,800	303,778	472,250	240,000		
	受益者負担分 14	千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等 15	千円	0	0	0	0	0	0		
財	都からの補助金等 16	千円	1,772	0	0	0	0	0		
源	その他の補助金等 17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	千円	1,772	0	0	0	0	0		
	差引:一般財源 19	千円	2,062	2,887	2,209	2,734	1,889	2,160		
	益者負担比率 20 4÷12)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度 事	「業実施状況(Do)		整	理番号	151
	内 容	規模	単位	事業費	貴(千円)
	風呂っと杉並運営費補助	4	所		563
主な取組					
上の収組					
	その他 ()				
	4浴場で88回実施しました。内容は主に健康体操です。				
事業実績					

令和 3年度 評価と課題(Check)

マから十戸一計	C in te C k <i>j</i>
事業開始当初から現在 までの環境の変化と 事業に対する意見(期 待・要望・苦情など)	本事業が開始された平成13年度は、区内公衆浴場が56か所ありましたが、令和3年度は19か所になりました。 事業開始当時の実施浴場数は15か所でしたが、徐々に実施浴場が減少していき、令和3年度は4か所でした。 令和2年3月に要綱改正し、利用方法を登録団体による継続利用から利用ごとの申込書・報告書の提出方法に変更しました。
事業の今後(3~5年) の予測と方向性	令和2年度に利用方法を改正しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により高齢者の社会活動が制限・自粛されたこともあり、新規グループの増加にはなかなか結び付きませんでした。 コロナ禍での新しい生活習慣等により社会活動が再開されたことに伴い、今後は杉並浴場組合とも 連携して制度の周知を進めるなど利用拡大に努めていきます。
計画(目標値)に対す る実績 (指標の分析等)	令和3年度は88回実施551人の利用実績で、実施浴場数は4か所と目標を大きく下回る結果となりました。
評価と課題	令和3年度は新規の利用実績はありませんでした。実施浴場数が減少している状況を踏まえ、これまでの事業実績などについて確認・検証をしてまいります。

予算の方向性	事業コストの方向性	現状維持
(見直しの視点)	事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・ 内容	事業目的・内容を浴場組織 ふれあい入浴事業とあわせる	合と確認し、実施可能な浴場の検討増加に努めます。委託事業のまちの湯 て、事業内容の周知を継続します。

(00143)

事務事業名称	きいきクラブの支援			款	04	項	01	1 02	事業	012	整理番号	152		
現担当課名	高齢者施策課			係名	名 いきがい活動支援係				連絡先 昨年度 電話番号 1165 整理番号 158			158		
上位施策No・施策	上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援 予算事業区分 既定事業													
事業開始	昭和33年度 実行計画事業 目標 04 施策 13 計画事業 01													
令和 3年度 担当課名	高齢者施策課						•		事	業評個	区分	一般		

<u> 令相 3年度 事務事業の概要(PLa</u>	n)	
対象 杉並区いきいきクラブ 杉並区いきいきクラブ連合会	根拠 (1)	老人福祉法第4条、第13条第2項
杉业区にさいさグラフ連合会	等 (2)	杉並区いきいきクラブ助成要綱
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) クラブ会員一人ひとりが社会貢献活動やいきがい活動 を積極的に行い、高齢期をいきいき元気に生活できるようにする。	活動指標 指標名(1)	いきいきクラブ加入者数
いきいきクラブ及びいきいきクラブ連合会の活動の活性化を推進し、会員増加を支援する。	指標名(2)	
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	指標説明	
いきいきクラブが実施する社会奉仕活動・友愛活動・健康増進活動・生きがい活動等のクラブ活動に対して、各クラブの会員数に応じて、助成する。	成果指標 指標名(1)	いきいきクラブ加入率
福祉大会・スポーヴ大会・健康づくり教室等の事業 に対して、助成する。	指標説明	いきいきクラブ加入者数÷60歳以上の人口(当該年度4 月1日現在)
	指標名(2)	1 か月の社会奉仕活動回数(クラブ当たり)
	指標説明	社会奉仕活動回数÷全クラブ数÷12月

指煙

<u> 1</u> E	<u>候、総事業質</u>	<u> </u>	くト把握	<u>(P I</u>	<u>a n • ı</u>	(و ر				
区分		単位	令和元年度	令和	2年度		3年度	令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度 予算執行率
		干世	実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	(%)
活	動指標(1) 1	人	5,185	5,000	4,944	4,800	4,440	4,500	92.5	83.4
活	動指標(2) 2									
成	果指標(1) 3	%	3.5	3.4	3.3	3.2	3.0	3.0	93.8	
成	果指標(2) 4	回	8.9	12	7.0	12	6.6	12	55.0	
事	業費 5	千円	22,718	23,930	19,730	23,350	19,479	21,816	特記 執行残の主	
	(内)投資的経費等 6	千円	0	0	0	0	0	0	新型コロナ	
	(内)委託費 7	千円	20	20	18	20	6	19	自粛により	
職	常勤職員数(再任用含) 8	人	1.10	1.10	1.00	1.10	1.20	1.20	デ キヘヘ・	の助成額が
員数	上記以外の職員 9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	may orere	.05 € 7 8
人	常勤職員分(再任用含) 10	千円	7,902	7,902	7,065	9,353	10,012	10,012		
件費	上記以外の職員 11	千円	0	0	0	0	0	0		
	事業費 12 10+11)	千円	30,620	31,832	26,795	32,703	29,491	31,828		
	位当たりコスト 13 ^{2-6)÷1)}	円	5,905	6,366	5,420	6,813	6,642	7,073		
	受益者負担分 14	千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等 15	千円	0	0	0	0	0	0		
 財	都からの補助金等 16	千円	2,505	2,626	2,409	2,613	2,306	2,475		
源	その他の補助金等 17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	千円	2,505	2,626	2,409	2,613	2,306	2,475		
	差引:一般財源 19	千円	28,115	29,206	24,386	30,090	27,185	29,353		
	益者負担比率 20 4÷12)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度 事業実施状況(Do)

整理番号 152

	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
主な取組	いきいきクラブ助成(いきいきクラブ連合会 1・各いきいきクラブ 63)	64	団体	19,320	
	福祉大会・都市交流等事業	1	団体	150	
	その他(連絡用郵券の購入ほか)			9	
事業実績	その他(連絡用郵券の購入ほか) (3/25) (63/25) が、社会奉仕活動や友愛活動(5,023回)、健康増進活動(5,530回)、いきがいを高める活動(5,385回)を実施しました。 いきいきクラブ連合会及び地区連合会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、福祉大会、スポーツ大会、カラオケ大会、東吾妻町とのグラウンドゴルフ大会による交流懇談会等をほとんど中止しました。連合会の運営に必要な活動や、一部の講習会等は、開催方法を工夫するなどして実施しました。				

令和 3年度 評価と課題(Check)

事業開始当初から現在
までの環境の変化と
事業に対する意見(期
待・要望・苦情など)

昭和33年度、3クラブで開始し、平成5年度に会員数のピーク(12,071人)、平成10年度にクラブ数のピーク(100クラブ)となりました。令和3年度は、63クラブ、会員数4,440人です。

高齢者人口は年々増加していますが、新規加入者より退会者が多くクラブ数及び会員数は年々減少 しています。

会員からは、「コロナ禍で思うように活動ができなかったが、工夫して会員同士の交流の機会を持つようにしている。」という声や、会員の高齢化が進み、「区やいきいきクラブ連合会への提出書類の作成が困難になってきている。また、役員の後継者がなく困っている。」という声もあります。

事業の今後(3~5年) の予測と方向性

老人クラブ加入者の減少は全国的な傾向となっており、区でもいきいきクラブ加入者数の減少とそれ に伴う活動の縮小が予測されます。

老人クラブの会員増加を図り、これまでの活動を維持していくために、いきいきクラブの活動の周知やいきいきクラブ連合会に対する支援を継続していきます。

計画(目標値)に対す る実績 (指標の分析等)

いきいきクラブ加入者数の目標未達の要因は、就業卒業年齢の上昇や高齢者の居場所の多様化による新規加入者の減少や、既存会員の高齢化による退会者数の増加及びクラブの解散にあると推定されます。

1 か月の社会奉仕活動回数(クラブ当たり)の目標未達の要因は、会員数の減少による活動の縮小や、新型コロナウイルス感染症の拡大による活動自粛によるものと推定されます。

評価と課題

コロナ禍による活動自粛から徐々に活動を再開し、令和3年度は、単位クラブにおける健康増進活動や、いきがいを高める活動の実績は増加しました。

しかし、活動を自粛している間にも会員・役員の高齢化は進み、会計処理や区への提出書類作成の 負担がより大きくなっています。表計算ソフトでの出納帳管理の操作説明や、会計処理の相談を随時 受け付けるなどの支援を積極的に行うとともに、いきいきクラブの魅力を地域の高齢者に発信する取 組に対する支援を行うことで、新規加入の促進、廃止クラブの抑制を図ります。

<u> 令和 5年度の方針 (A c t i o n)</u>

- 予算の方向性 - 予算の方向性	Ⅰ 事業コストの方向性	現状維持
(見直しの視点)	事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
予算の方向性の理由・ 内容	あいを実感することで充実 いきいきクラブの存在は不 大きな負担となっている: 化をすることは難しいです;	会計処理や区への提出書類については、東京都への報告書類の関係で簡略 が、全体で説明会を開催したり、クラブ単位で指導も行い重点的に支援を 成金の使途について指導を丁寧に行い、助成金を有効活用してもらい、ク

(00144)

事務事業名称	シルバー人材セン	ルバー人材センター支援			款	04	項	01	目	02	事業	013	整理番号	153	
現担当課名	修 者施策課			係名	いきがい活動支援係					<mark>連絡先</mark> 1165 電話番号			5	昨年度 整理番号	159
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援 予算事業区分 既定事業															
事業開始	昭和53年度														
令和 3年度 担当課名	高齢者施策課						Ę	事業語	平価	区分	一般				

<u> 令相 3年度 事務事業の概要(PIa</u>	n)	
対象 公益社団法人杉並区シルバー人材センター	根拠 (1)	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第5条
	等 (2)	杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	活動指標	******* B **
杉並区シルバー人材センターの安定した事業運営を図り、高齢者が就業等を通して、地域の中で生涯現役で活	指標名(1)	就業実人員数
リ、高殿者が別業等を通じて、地域の中で生涯現役で活躍できるように支援する。	指標説明	指標の計画値は、シルバー人材センターの目標値を使用 している。
	指標名(2)	年度末現在会員数
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	指標説明	
杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営の	* B * K * #	
ため、補助金の交付を行う。	成果指標 指標名(1)	実契約件数
	指標説明	月単位で実績のあった受託件数の累計
	指標名(2)	会員の就業率
	指標説明	就業実人員数 ÷ 年度末現在会員数

指煙 **公車業費・コフト**抑握 (D l a n ・ D o)

扛	<u>「標、総事業質</u>	<u> </u>	<u> くト把握</u>	(PI	<u>a n • l</u>	<u>) </u>				
	区分	単位	令和元年度	令和	2年度		3年度	令和 4年度	令和 3年度	
	△ ガ	単位	実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活	動指標(1) 1	人	1,974	2,095	1,801	2,050	1,754	1,900	85.6	94.8
活	動指標(2) 2	人	2,697	2,850	2,630	2,800	2,687	2,800	96.0	
成	果指標(1) 3	件	7,188	7,950	5,911	6,260	5,809	5,771	92.8	
成	果指標(2) 4	%	73.2	73.5	68.5	73.2	65.3	67.8	89.2	
事	業費 5	千円	142,663	140,134	137,718	136,016	128,979	126,676	特記	事項
	(内)投資的経費等 6	千円	0	0	0	0	0	0		
	(内)委託費 7	千円	0	0	0	0	0	0		
職	常勤職員数(再任用含) 8	人	0.40	0.40	0.40	0.50	0.60	0.55		
員数	上記以外の職員 9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人	常勤職員分(再任用含) 10	千円	3,487	3,487	3,401	4,252	5,006	4,589		
件費	上記以外の職員 11	千円	0	0	0	0	0	0		
	事業費 12 10+11)	千円	146,150	143,621	141,119	140,268	133,985	131,265		
	位当たりコスト 13	円	74,037	68,554	78,356	68,423	76,388	69,087		
	受益者負担分 14	千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等 15	千円	0	0	0	0	0	0		
財	都からの補助金等 16	千円	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495		
源	その他の補助金等 17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	千円	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495		
	差引:一般財源 19	千円	133,655	131,126	128,624	127,773	121,490	118,770		
	益者負担比率 20 4÷12)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度 事	業実施状況(Do)		Ŋ.	整理番号	153
	内 容	規模	単位	事業	費(千円)
	シルバー人材センター運営助成				128,929
主な取組					
上る玖組					
	その他(負担金の支出ほか)				50
事業実績	シルバー人材センターの事業実績は、契約件数5,809件、事業収入 、有料自転車駐輪場管理等の公共事業119件、民間企業の事業598件、 5,005件、労働者派遣事業64件です。社会参加等支援事業として「シ 施しました。	独自事業23件、	、一般	家庭の	事業

令和 3年度 評価と課題(Check)

令和 3年段 評	1叫と誄起(Cneck)
事業開始当初から現在 までの環境の変化と 事業に対する意見(期 待・要望・苦情など)	一般企業への就職は無理だが、健康で働く意欲を持っている高齢者のために、その能力と経験を生かした仕事を確保し、生きがいの充実と社会参加を高めることを目的に、昭和54年3月10日に高齢者事業団として設立され、その後、昭和55年12月1日に社団法人シルバー人材センター杉並区高齢者事業団に、そして公益法人制度改革により平成23年4月1日から公益社団法人となった杉並区シルバー人材センターの運営を支援しています。シルバー人材センターの会員数は、昭和54年度末は1,280人でしたが、令和3年度末は2,687人になりました。年間を通じて実施しているお客様満足度調査においては、総合評価で75点以上が大半を占め、好評価を受けています。
事業の今後(3~5年) の予測と方向性	高齢者雇用安定法の改正による定年の延長やコロナ禍などの社会状況の変化に対応するために、シルバー人材センターは令和4年度から6年度までの中期計画「第二次 れいわライジングプラン」を新たに策定し、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する役割を担っていくこととしています。 区は引き続き、シルバー人材センターの健全な発展を支援していきます。
計画(目標値)に対す る実績 (指標の分析等)	令和3年度の対計画比で就業人員が86%、会員数が96%、契約件数が93%となっています。 新型コロナウイルス感染症に対する不安や在宅ワークの普及により家事援助サービス・子育て支援 サービスの受注が減少し、その他の受託事業も伸び悩んだため契約件数が目標未達となりました。 また、高齢者の重症化リスクの高い新型コロナウイルス感染の不安等による就労控えにより、就業 人員も目標未達となりました。
評価と課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、就業人員、会員数、契約件数が令和3年度の目標を下回ることになりましたが、シルバー人材センターでは感染症防止策を講じた入会説明会の開催回数を増やし新規会員の獲得に努めたり、他人との接触が少ないマンション清掃の受注を増やすことなど社会状況の急速な変化に対応した運営をおこなっています。 今後も引き続き、事業周知への協力や区民の新しい生活様式の変化に対応した業務の受注や地域における社会貢献活動などの運営上の工夫について助言をするなどシルバー人材センターの運営を支援していきます。

 予算の方向性	Ⅰ 事業コストの方向性	現状維持
(見直しの視点)	Ⅱ 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・ 内容	コロナ禍での区民の新しい の検証を踏まえて、スクラッ	い生活様式の変化に対応した取組について、これまで取り組んできた事業 ップ・アンド・ビルドの視点での取組が進むよう必要な助言を行います。

(00145)

事務事業名称	高齢者いきがい活	齢者いきがい活動支援			款	04	項	01	目()2 📱	事業	014	整理番号	154		
現担当課名	高齢者施策課 係 名			係名	いきがいシ	活動支援係					E絡先 電話番		1164	1	昨年度 整理番号	160
上位施策No・施	上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援 予算事業区分 既定事業															
事業開始	昭和58年度	実行計画事業	目標 04	施策	[13] 計	画事業 01				Ξ	主要事	業 ((ZE	枚経営 執	股告書掲載事	業)
令和 3年度 担当課名	高齢者施策課						•	·		III	事業評	栖区	区分	一般		

<u>令相 3年度 事務事業の概要(PIa</u>	n)	
対象 概ね60歳以上の区民 ただし、高齢者の就業・社会参加支援は、概ね55歳以上	根拠 (1)	老人福祉法第4条
ただし、高齢者の就業・社会参加支援は、概ね55歳以上 の在住・在勤者	等 (2)	杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館設置条 例
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者が生きがいを高める活動・学習・就業の場を利	活動指標 指標名(1)	杉の樹大学講座開催数
高齢者が生きがいを高める活動・学習・就業の場を利 用して、地域の中で生涯現役で健康に暮らしていけるよ うにする。	指標説明	
	指標名(2)	高齢者の就業・起業個別相談会実施回数
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	指標説明	
杉の樹大学を法人に委託し各種講座の企画運営を 実施する。 高齢者の就業・社会参加支援をNPO法人に委託 し実施する。	成果指標 指標名(1)	杉の樹大学受講者数
	指標説明	杉の樹大学本科の受講者数
	指標名(2)	高齢者の就職成立件数
	指標説明	

指煙 総事業費・コスト押握 (Plan・Do)

<u>1</u>	<u>惊、総争業員</u>	<u> </u>	<u> </u>	<u>くしに控</u>	(PI	<u>a n • </u>	<u> </u>				
	区分		#4 \ 7-	令和元年度	令和 2	2年度		3年度	令和 4年度	令和 3年度	
			単位	実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動	動指標(1)	1	回	24	24	24	24	24	56	100.0	100.0
活動	動指標(2)	2	回	22	24	18	24	24	24	100.0	
成	果指標(1)	3	人	109	150	86	150	126	640	84.0	
成	果指標(2)	4	人	11	20	10	20	8	20	40.0	
事	業費	5	千円	8,641	5,969	5,968	6,545	6,545	6,435	特記	事項
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0		
	(内)委託費	7	千円	8,614	5,969	5,968	6,545	6,545	6,435		
職	常勤職員数(再任用含)	8	人	0.80	0.70	0.91	0.70	0.80	0.80		
員数	上記以外の職員	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人	常勤職員分(再任用含)	10	千円	6,131	5,259	6,623	5,234	5,660	5,660		
件費	上記以外の職員	11	千円	0	0	0	0	0	0		
	事業費 10+11)	12	千円	14,772	11,228	12,591	11,779	12,205	12,095		
	立当たりコスト ^{2-6) ÷ 1)}	13	円	615,500	467,833	524,625	490,792	508,542	215,982		
	受益者負担分	14	千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15	千円	0	0	0	0	0	0		
財	都からの補助金等	16	千円	6,233	0	0	0	0	0		
源	その他の補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円	6,233	0	0	0	0	0		
	差引:一般財源 (12-18)	19	千円	8,539	11,228	12,591	11,779	12,205	12,095		
	益者負担比率 4÷12)	20	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度 事業実施状況(Do)

整理番号 154

		内 容	規模	単位	事業費(千円)		
		杉の樹大学運営委託	1	所	3,817		
主な取組	高齢者の就業・社会参加支援委託	1	所	2,618			
		その他(公募型プロポーザルに係る財務状況診断業務委託)			110		
	事業実績	杉の樹大学事業は、年間3期各8回の講座(延べ126名)を実施しました。 高齢者の就業・社会参加支援事業は、個別相談を24回(延べ69名)実施し、6名が就業しました。 また、就業セミナーを1回開催(延べ21名参加)し、2名が就業しました。					

令和 3年度 評価と課題(Check)

事業	開始当	初から	現在
まで	の環境	の変化	ی
事業	こ対す	る意見	(期
待・	要望・	苦情な	ど)

杉の樹大学事業は、昭和59年に直営で開始し、現在は公募型プロポーザルにより運営を法人に委託しています。開始当時は、1年を通したカリキュラムでしたが現在は単発の講座を複数回実施しています。

元気高齢者地域活躍推進事業は、平成29年度から実施しましたが、令和元年度で廃止しました。 高齢者の就業事業は、令和2年度に元気高齢者地域活躍推進事業から移行した就業セミナーや個別 相談の事業を法人に委託しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の一部 を中止又は変更して実施しました。

事業の今後(3~5年) の予測と方向性

杉の樹大学事業は、令和4年度から当面の間の学習テーマを「高齢者のデジタルデバイド解消」とし、令和3年度に公募型プロポーザルを実施し、4年度からの事業者を選定しました。今後、3Gガラケー(フューチャーホン)のサービスが順次終了していく中で、緊急性・必要性の高いスマホ講座を実施していきます。

また、高齢者の就業事業は、令和2年度に元気高齢者地域活躍推進事業から移行した就業セミナー や個別相談の事業を法人に委託し引き続き実施しています。

計画(目標値)に対す る実績 (指標の分析等)

杉の樹大学事業は、講義方法や座席の工夫による感染対策をして延べ126名の参加になりました。 高齢者の就業・社会参加支援事業では、コロナ感染症の不安等から就業相談が減少し、定年退職後 の就労等の情報収集のための相談が増加したため、活動指標である高齢者の就職成立件数20件に対し 、8件の実績となり、目標には達しませんでした。

評価と課題

杉の樹大学では、令和2年度より参加者数は増えましたが、新型コロナウイルス感染症対策のためグループワークが実施できないのは残念との意見がありました。コロナ禍の中で社会ではインターネット利用時間は増加しましたが、デジタル化についていけない高齢者がコミュニケーション不足に陥る状況もあることから、高齢者自身がICTを活用してコミュニケーションを広げたり社会参加を促進していくため、ICT関連講座の実施に取り組みます。また、高齢者の就業・社会参加支援事業では、相談件数は前年度より4件多い69件でした。就業体験は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、昨年同様、実地体験は行えず、ゆうゆう高円寺南館での講義と模擬実習となりましたが、参加者からはおおむね好評でした。

<u>令和 5年度の方針(Action)</u>

予算の方向性	事業コストの方向性	現状維持
(見直しの視点)	事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・ 内容	高齢者のニーズに応えてい 。	いくために、委託事業者と連携し、引き続き内容の充実を図っていきます

(00162)

事務事業名称	ゆうゆう館の運営			款	04	項	01	目	02	事業	033	整理番号	165	
現担当課名	高齢者施策課 係名		施設担当係				<mark>連絡先</mark> 電話番号 1153			3	昨年度 整理番号	171		
					予算	事業	区分	既定事	業					
事業開始	昭和38年度													
令和 3年度 担当課名	高齢者施策課					·		1	事業詞	評価	区分	一般		

令和 3年度 事務事業の概要(Plan)

<u> 令和 3年度 事務事業の概要(PIa</u>	n)	
対象 60歳以上の区民及びゆうゆう館協働事業参加者、NPO 法人等の協働事業実施団体	根拠 (1)	杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例
法人等の協働事業実施団体	等 (2)	老人福祉法
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	活動指標	協働事業実施回数
NPO法人等との協働により、ゆうゆう館の管理運営を効率的かつ利用者にとって魅力ある運営を行う。	指標名(1)	励 则争未关 爬凹奴
と効果が ラー・バー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー	指標説明	
	指標名(2)	協働事業年間参加者数
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	指標説明	
トラスティック ゆうゆう館の受付業務及び館清掃等をNPO法人 まんしょ しゅうしょ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしゅう しゅう	成果指標	
対案的かつ魅力あるゆうゆう館として運営してい	指標名(1)	ゆうゆう館部屋稼働率
効率的かつ魅力あるゆうゆう館として運営してい くため、評価委員会を開催し、ゆうゆう館協働事業 実施団体に対する評価を行う。 新たにゆうゆう館の協働事業宝施団体を選定する	指標説明	使用した回数÷使用可能枠数
新たにゆうゆう館の協働事業実施団体を選定する ため、選定委員会を開催する。 ゆうゆう館の円滑な運営のため、運営団体と意見	指標名(2)	協働事業参加者の満足度
交換を行う。	指標説明	(大いに満足 + 満足)÷参加者数 利用者アンケート結 果より

指標、総事業費・コスト把握(Plan・Do)

ᄩ	<u>候、総争美賀</u>	<u> </u>	くト把握	_		(ס כ				
区分		単位	令和元年度	令和	2年度		3年度	令和 4年度		令和 3年度 予算執行率
	匹力		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	(%)
活	動指標(1) 1		9,691	10,500	5,261	7,000	8,000	9,000	114.3	99.8
活	動指標(2) 2	人	105,222	117,000	40,182	77,000	66,824	90,000	86.8	
成	果指標(1) 3	%	51.7	50	36.5	50	40.4	50	80.8	
成	果指標(2) 4	%	97.8	90	94.2	90	97.2	90	108.0	
事	業費 5	千円	274,155	276,536	271,063	260,103	259,604	254,382	特記	事項
	(内)投資的経費等 6	千円	0	0	0	0	0	0		
	(内)委託費 7	千円	270,468	271,715	267,502	259,230	259,024	251,693		
職	常勤職員数(再任用含) 8	人	2.46	2.00	2.17	2.00	2.07	2.00		
員数	上記以外の職員 9	人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80		
人	常勤職員分(再任用含) 10	千円	21,446	17,436	18,452	17,006	17,270	16,009		
件費	上記以外の職員 11	千円	2,464	2,464	2,902	2,902	2,940	2,940		
	事業費 12	千円	298,065	296,436	292,417	280,011	279,814	273,331		
	位当たりコスト 13 ^{2-6) ÷ 1)}	円	30,757	28,232	55,582	40,002	34,977	30,370		
	受益者負担分 14	千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等 15	千円	0	0	0	0	0	0		
財	都からの補助金等 16	千円	0	0	0	0	0	0		
源	その他の補助金等 17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	千円	0	0	0	0	0	0		
	差引:一般財源 19	千円	298,065	296,436	292,417	280,011	279,814	273,331		
	益者負担比率 20 4÷12)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度 事業実施状況(Do)

整理番号 165

	<u>マルリース チ</u>						
		内 容	規模	単位	事業費(千円)		
		ゆうゆう館受付等業務委託(うち協働事業館29館)	29	館	259,019		
主な取組	協働事業館支援事業の実施(備品・消耗品購入)	1	館	540			
	ゆうゆう館協働事業実施団体評価委員会開催	3		45			
		その他 ()					
	事業実績	29館で年間8,000回の協働事業が行われ、延べ6万6千人を超える参加者ありました。利用は242,131人でした。ゆうゆう館協働事業実施団体の評価は、平成28年度に開始した3団体及年度に開始した5団体、さらに平成30年度に開始し、令和2年度の評価において1年更新した象に、評価委員会を3回開催して実施しました。 なお、令和3年度に協定期間が満了となった団体はなく、ゆうゆう館協働事業実施団体候委員会の開催はありませんでした。					

令和 3年度 評価と課題(Check)

<u>マ州 3 年 </u>	C A C C C C C
事業開始当初から現在 までの環境の変化と 事業に対する意見(期 待・要望・苦情など)	受付等業務委託は、平成18年度の時点では16館(うち協働事業館9館)で行っていました。平成23年度から区内32か所あるゆうゆう館の全てが、受付等業務委託館及び協働事業実施館となりました。ゆうゆう館の運営は順調に行われており、受託団体の接客姿勢についてもアンケート結果をはじめ、直接、利用者からも満足との評価を得ています。また、協働事業についても、利用者のニーズに合わせた内容を取り入れるなど幅広く行っています。しかし、従来からゆうゆう館を利用していた高齢者団体等からは、希望する日時での部屋の確保ができなくなり、自主活動がやりづらくなったなどの声が寄せられています。なお、ゆうゆう浜田山館は令和4年4月1日開設のコミュニティふらっと成田へ集約されるため、令和4年3月で運営を終了しました。
事業の今後(3~5年) の予測と方向性	高齢人口の増加に伴い、ゆうゆう館の持つ高齢者の活動の場の必要性は、今後も大きく期待されます。高齢者のニーズに対応した館運営を行うために、区は評価及び選定を通して事業者への指導や支援を行います。その一方で、杉並区区立施設再編整備計画では、ゆうゆう館は、多世代が身近な地域で交流することができる地域コミュニティ施設(コミュニティふらっと)へと段階的に再編整備されることになっています。再編整備後もコミュニティふらっとにおいて、高齢者が社会参加や交流、いきがい活動の拠点の場としての役割を担っていきます。

計画(目標値)に対す る実績 (指標の分析等)

協働事業参加者の満足度においては、目標値より高い数値を得ることができました。一方、ゆうゆう館の協働事業実施回数や協働事業参加者数、部屋の稼働率は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため国が発出した緊急事態宣言や都に対するまん延防止等重点措置に伴い、開館時間を午後8時までとしたり、部屋の定員のおおむね1/2の利用制限とした影響もあり、実施回数や部屋の稼働率は目標を上回ったものの、参加者数は目標値を下回りました。

評価と課題

ゆうゆう館は、高齢者の社会参加や交流、いきがい活動の拠点となっています。今後も、地域に根差した施設として、高齢者の満足がさらに上がるよう運営を行っていきます。

一方、杉並区区立施設再編整備計画では、地域コミュニティ施設(コミュニティふらっと)への再編整備を進めることになっており、ゆうゆう館の機能継承が円滑に行われるよう関係課と連携しながら進めていきます。

<u>令和 5年度の方針(Action)</u>

- 予算の方向性 - 予算の方向性	Ⅰ 事業コストの方向性	縮小					
(見直しの視点)	事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)					
予算の方向性の理由・ 内容	るよう協働事業の充実や受け ロナ禍における利用者との ゆうゆう館のコミュニテ	社会参加や交流、いきがい活動の場として、利用者の満足度がさらに上が付業務の向上を委託事業者と連携を取りながら図っていきます。また、コ新しいつながりの事業を引き続き進めていきます。 イふらっとへの再編整備については、ゆうゆう天沼館及びゆうゆう方南館き関係各課と協力しながら取り組みます。					

(00163)

事務事業名称	療サービス			款	04	項	01	目	02	事業	034	整理番号	166	
現担当課名	齢者施策課 係名 いきがい活動支援係								連絡先 1164 昨年度 電話番号 整理番号				172	
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援									予算事業区分 既定事業					
事業開始	業開始 昭和48年度													
令和 3年度 担当課名	高齢者施策課							1	事業語	評価	区分	一般		

令和 3年度 事務事業の概要(Plan)

令和 3年度 事務事業の概要(PLa	n)	
対象 60歳以上の区民	根拠 (1)法令等 (2)	杉並区三療サービス事業実施要綱
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) マッサージやはりによる施術を受けることにより、高 齢者の身体機能の維持・介護予防の促進・健康増進を図 り、いきいきと暮らせるようにする。	活動指標 指標名(1) 指標説明	三療サービス利用者数 ゆうゆう館でのサービス利用人数
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	指標名(2) 指標説明	
ゆうゆう館で行うマッサージによる施術を「杉並 区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施 する。	成果指標 指標名(1)	利用率
	指標名(2) 指標説明	利用者数÷ (当該年度4月1日付け)60歳以上の区民

指標、総事業費・コスト把握(Plan・Do)

ᅸ	<u>候、総事業質・</u>	<u> </u>	くト把握	(PI	<u>an·ι</u>	ر و ر				
	区分	単位	令和元年度	令和	2年度	1.1	3年度	令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度 予算執行率
	运 刀		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	ア昇執行率 (%)
活	動指標(1) 1	人	4,655	5,616	2,151	5,328	2,684	5,184	50.4	99.0
活	動指標(2) 2									
成	果指標(1) 3	%	3.2	3.8	1.5	3.6	1.8	3.5	50.0	
成	果指標(2) 4									
事	業費 5	千円	11,051	10,339	9,444	11,636	11,514	11,343	特記 3年度の事業	
	(内)投資的経費等 6	千円	0	0	0	0	0	0	が対前年比	
	(内)委託費 7	千円	10,992	10,022	9,153	11,244	11,154	10,963	2年度が感シ	や症拡大に 体止期間が
職	常勤職員数(再任用含) 8	人	0.50	0.90	1.10	0.90	0.70	0.60	あったこと	
員数	上記以外の職員 9	人	1.00	0.30	0.30	0.00	0.00		ちみ、3年原 通して事業	度は1年間を を実施した
人	常勤職員分(再任用含) 10	千円	4,359	5,736	7,197	5,137	3,811	2,977	ため、平常	時の数値に
件費	上記以外の職員 11	千円	3,080	924	1,088	0	0	0		- , ,
	事業費 12	千円	18,490	16,999	17,729	16,773	15,325	14,320		
	位当たりコスト 13 2-6) ÷ 1)	円	3,972	3,027	8,242	3,148	5,710	2,762		
	受益者負担分 14	千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等 15	千円	0	0	0	0	0	0		
財	都からの補助金等 16	千円	6,265	0	0	0	0	0		
源	その他の補助金等 17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 18 (14+15+16+17)	千円	6,265	0	0	0	0	0		
	差引:一般財源 19	千円	12,225	16,999	17,729	16,773	15,325	14,320		
	益者負担比率 20 4÷12)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和_3年度 事業実施状況(Do) 整理番号 166 規模 単位 事業費(千円) 2,684 9,713 三療サービス (ゆうゆう館)事業委託 主な取組 その他(シーツの洗濯料ほか 1,801 ゆうゆう館29館を施術場所とし、毎月37回・年間444回実施しました。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度と同様に利用者が大幅に減少し 、利用者数は2,684人まで落ち込みました。 事業実績

令和 3年度 評価と課題(Check)

マ州の中反が	<u> C </u>
事業開始当初から現在 までの環境の変化と 事業に対する意見(期 待・要望・苦情など)	三療サービスは、昭和52年に敬老会館でマッサージ・鍼・灸の3種で開始し、昭和57年より鍼・灸の2種となり、令和2年よりマッサージのみとなりました。 高齢者活動支援センターは平成24年5月以降指定管理者制度に移行し、指定管理者と杉並区高齢者 三療サービス連絡協議会との契約となり、事業予算は指定管理料から支出する形に変更しました。 ゆうゆう館における利用数は、令和2・3年度は新型コロナウイルスの影響で大きく落ち込みましたが、令和元年度までは毎年同水準の利用傾向でした。大半の利用者からは満足しているといった感想をいただいています。
事業の今後(3~5年) の予測と方向性	区の施設再編整備計画に基づくゆうゆう館の地域コミュニティ施設(コミュニティふらっと)への機能継承が進められています。地域コミュニティ施設(コミュニティふらっと)では三療サービスが実施できないため、近隣のゆうゆう館で施術機会を増やし、地域での施術提供量を維持できるようにしていきます。また、利用者が固定化する傾向がみられますが、より多くの方に利用していただくため、ホームページやゆうゆう館等での周知に加えて敬老会でも周知を実施し、さらに強化していきます。
計画(目標値)に対す る実績 (指標の分析等)	ゆうゆう館における利用数は、令和2・3年度は新型コロナウイルスの影響で大きく落ち込み、計画に対する実績値は令和2年度38%・令和3年度50.4%程度です。 平常時には90%程度の実績があった事業ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者数も大きく落ち込みました。感染状況が安定してくれば、利用者がある程度戻ってくると分析しています。
評価と課題	利用者の高齢化が一層進んでいることから、ゆうゆう館運営団体と連携して、利用者の健康管理面に特段の注意を払っていきます。 また、施術者の質の向上や接遇力の向上を支援していくために、利用者の声を反映させ、三療サービス連絡協議会との意見交換を積極的に行っていきます。 更に、ゆうゆう館運営団体の協力も得ながら、三療サービスの具体的な効果を確認するとともに、介護予防・健康増進に向けた実施方法などについて検討します。

予算の方向性	l 事業コストの方向性	現状維持								
(見直しの視点)	■ 事業の改善の方向性 手段・方法の見直し(改善)									
予算の方向性の理由・ 内容	健康増進や介護予防事業 う館の周辺地域のサービス(を維持していきます。	こつなげていく取組として引き続き実施していくため、廃止となるゆうゆ 氐下が生じないよう、近隣のゆうゆう館での施術回数を増やし施術提供量								

(00164)

事務事業名称	敬老事業	₹				04	項	01	目	02	事業	035	整理番号	167		
現担当課名	齢者施策課 係名 いきがい活動支援係								連絡先 1165 昨年度 整理番号				173			
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援								14.	予算事業区分 既定事業							
事業開始 昭和25年度																
令和 3年度 担当課名	5 m 表 m 表 理							H	事業部	平価	区分	一般				

令和 3年度 事務事業の概要(P l a	n)	
対象	根拠 (1)	老人福祉法第4条、5条、第13条第1項
祝い品 75歳(28年度まで)、81歳(令和2年度まで) 、90歳(29年度より)、100歳以上の高齢者	等 (2)	杉並区敬老事業実施要綱
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	活動指標	敬老会参加者数
敬老事業が対象者の日常生活に、新たな価値や意味を 見出すきっかけとなり、健やかに充実した後期高齢期を 過ごし、意欲や活力が高められるようにする。	指標名(1)	37.0 a 2 11 a 22
過ごし、意欲や活力が高められるようにする。 	指標説明	
	指標名(2)	祝い品贈呈者数(81歳、90歳、100歳以上)
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	指標説明	
│ 高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催 │ する。	成果指標	***************************************
対象者に敬老祝い品(90歳)、長寿祝い品(100 歳以上)を贈呈(戸別配送)する。 _在宅で生活している100歳以上の男女1名ずつ、区	指標名(1)	敬老会来場率
では、	指標説明	来場者 ÷ 対象者
長が訪問し、直接贈呈を行う。	指標名(2)	祝い品交換率
	指標説明	交換者÷対象者数

総事業費・コスト把握 (Plan・Do) 指煙

<u> 指標、総事業質・</u>				くト把握	_	<u> </u>	<u> </u>				
	区分		単位	令和元年度	令和 2	2年度		3年度	令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度 予算執行率
	运 力		+12	実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	(%)
活重	动指標(1)	1	人	6,322	6,800	0	3,600	3,690	6,300	102.5	82.0
活重	边指標(2)	2	人	5,907	5,894	5,852	2,455	2,308	2,412	94.0	
成身	早指標(1)	3	%	9.8	10.2	0.0	5.5	5.7	9.4	103.6	
成月	早指標(2)	4	%	97.6	98	97.3	98	95.7	98	97.7	
事業	費	5	千円	35,330	23,739	18,493	46,160	37,859	42,152		<mark>事項</mark> 内状等の印
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0		業務委託(
	(内)委託費	7	千円	13,801	129	112	21,531	19,973	22,137	が想定より設計差金が	安価になり
職員	常勤職員数 (再任用含)	8	人	2.18	1.50	1.00	1.90	2.00		と、応募者 の影響を受	け例年より
数	上記以外の職員	9	人	0.00	0.30	0.30	0.00	0.00	0.00	少なかった 状発送数が	減り、実績
人件	常勤職員分(再任用含)	10	千円	14,237	10,967	7,784	12,920	13,981	12,808	•	
費	上記以外の職員	11	千円	0	924	1,088	0	0	0	対象者が想	
	事業費 0+11)	12	千円	49,567	35,630	27,365	59,080	51,840	54,960	かったこと品の購入費	用及び郵送
	立当たりコスト -6)÷1)	13	円	7,840	5,240	0	16,411	14,049	8,724	U & U /L.	
	受益者負担分	14	千円	0	0	0	0	0	0	、令和3年	ことにより 度の予算執
	国からの補助金等	15	千円	0	0	0	0	0	0	行率が低く 。	なりました
財	都からの補助金等	16	千円	8,034	0	0	0	0	0		
源	その他の補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円	8,034	0	0	0	0	0		
	差引:一般財源 (12-18)	19	千円	41,533	35,630	27,365	59,080	51,840	54,960		
	<u>给者負担比率</u> ÷12)	20	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度 事業実施状況(Do)

整理番号 167

マから十反・尹	未天心(小ル(DD <i>)</i>		12	107			
	内容	規模	単位	事業費(千円)			
	敬老会	3,690	人	21,480			
主な取組	敬老祝い品贈呈	2,308	人	16,379			
土体収組							
	その他 ())					
事業実績	敬老会については前年度は中止となりましが、令和3年度感染防止 、3,690人の来場がありました。 敬老祝い品については、令和3年度から敬老祝い品は81歳を廃止し、 通商品券による祝い品を贈りました。さらに在宅で生活している100 長寿を祝い、花束の贈呈をしました。	、90歳と100歳	以上の方	で区内共			

令和 3年度 評価と課題(Check)

事業開始当初から現在
までの環境の変化と
事業に対する意見(期
待・要望・苦情など)

対象である75歳以上の人口は、敬老事業が開始された頃と比較すると、昭和27年は約3,000人、令和3年は約66,000人で22倍となります。

敬老会は、昭和25年から始まり、令和3年度では5日間計9回公演となりました。

祝い品については、100歳以上の長寿祝いが平成2年度から、81歳の祝い品が平成12年度から(令和2年度で終了)、75歳の祝い品が平成15年度から(平成28年度で終了)、90歳の祝い品が平成29年度から開始され、現在に至っています。敬老祝い品は、令和3年度から区内共通商品券に変更し、90歳の方には5000円分、100歳以上の方には10,000円分を贈呈しています。「カタログよりも金券のほうが、個人の嗜好に合わせて利用できるので嬉しい。」という声が多数あります。

事業の今後(3~5年) の予測と方向性

令和4年度以降も、高齢者人口の増加に伴い、対象者の増加が見込まれます。

敬老会については、対象の75歳以上の人口が年々増加し、開催回数の更なる追加が必要となっています。

また、敬老祝い品については、令和3年度から90歳と100歳以上の祝い品の品目を区内共通商品に変更しました。

計画(目標値)に対す る実績 (指標の分析等)

敬老会の対象者は、団塊の世代が75歳を迎え、年々増加しており今後も増え続ける見通しです。来 場率は対象者の1割に迫っています。

敬老祝い品の交換率は高い水準で推移していますが、対象者の死亡・転出や、祝い品希望調査(100歳以上)に返信がない方、長期不在などにより祝い品が返戻され勧奨通知を送っても反応がない方、ご自身やご家族のご意向により受取を辞退される方が一定数いらっしゃったため、成果目標の98%は未達となっています。

評価と課題

敬老会については、感染症予防対策を実施したうえで開催しましたが、参加希望者が大幅に減少しました。75歳以上の人口は2055年ごろまで増加する見込みで、今後、高齢者の社会活動が再開した際には参加希望者の増加が予想されるため、実施形態や実施回数の見直しにより応えていきます。

また、敬老祝い品については、交換率が95.7%と若干低下しましたが、おおむね好評でした。見直し後の事業内容に寄せられる意見も肯定的な意見が多く、現状の方針を保ちつつ、高齢者人口の更なる増加をふまえ、事業のあり方を検討していきます。また、交換率を少しでも上げるために、祝い品希望調査(100歳以上)に返信がない方に対しても、勧奨通知を送る予定です。

<u>令和 5年度の方針(Action</u>)

予算の方向性	Ⅰ 事業コストの方向性	現状維持
(見直しの視点)	事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・ 内容	敬老事業については、これ 度からの実施方法を維持して ます。	れまでも適切な形での実施へと見直しを重ねてきました。現状、令和3年 つつ事務の効率化を図っていきますが、事業対象者規模は増加傾向にあり

(00165)

事務事業名称	寿応援ポイント事業					款	04	項	01	目 02	事業	036	整理番号	168			
現担当課名	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									絡先 話番号	116	66	昨年度 整理番号	174			
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援									子	⁵ 算事	《区分	既定事	業				
事業開始 平成21年度 実行計画事業 目標 04 施策 13 計画事業 02																	
令和 3年度 担当課名 高齢者施策課									事	業評価	西区分	一般					

<u> 令相 3年度 事務事業の概要(PIa</u>	n)	
対象 地域貢献活動、健康増進活動等は60歳以上の区民 いきがい活動は、75歳以上の区民	根拠 (1)	杉並区長寿応援ポイント事業実施要綱
いてかい行動は、行列の人工の区内	等 (2)	杉並区長寿応援ポイント事業運営会議設置要綱
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	活動指標	活動登録グループ件数(新規)
高齢者の外出を促し、健康長寿や社会参加を応援すると ともに、地域包括ケアへの取り組みの中で、地域のささ	指標名(1)	/日到豆xxノル ノ 〒
えあいが進展することを目指す。	指標説明	
	指標名(2)	ポイント交換者数(延べ)
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	指標説明	
区が認定した「地域貢献活動」等への高齢者の参加に対してポイントを配布する。貯めたポイントは、地域貢献活動団体に助成する目的で設置した長寿	成果指標 指標名(1)	65歳以上の高齢者でいきがいを感じている人
、地域貢献活動団体に助成する目的で設置した長寿 応援ファンドや各種基金等への寄附及び区内共通商	,	の割合 区民意向調査による
日	指標説明	
	指標名(2)	
	指標説明	

指煙 **公車業費・コフト**抑握 (D l a n ・ D o)

担	<u>「標、総事業質」</u>	<u>' </u>	<u> くト把握</u>	(PI	<u>a n • L</u>	<u>) </u>				
	区分	単位	令和元年度	令和:	2年度	令和	3年度	令和 4年度	令和 3年度	
	运 刀		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活	動指標(1) 1	件	78	90	36	60	39	39 60		78.4
活	動指標(2) 2	人	7,374	8,000	4,865	5,000	5,800	7,000	116.0	
成	果指標(1) 3	%	75.5	93.5	78.0	95.0	66.2	95.0	69.7	
成	果指標(2) 4									
事	業費 5	千円	97,462	99,650	82,896	99,346	77,896	94,026		<mark>事項</mark> ウイルス感
	(内)投資的経費等 6	千円	0	0	0	0	0	0	新宝コロノ 染症の影響 停止等の影	による活動
	(内)委託費 7	千円	38,810	40,296	39,643	41,259	40,610	41,375	予算執行率した。	が低下しま
職	常勤職員数(再任用含) 8	人	1.10	1.00	1.00	1.50	1.50	1.50	072.	
員数	上記以外の職員 9	人	0.00	0.40	0.40	0.00	0.00	0.00		
人	常勤職員分(再任用含) 10	千円	9,590	8,718	8,503	12,755	12,515	9,133		
件費	上記以外の職員 11	千円	0	1,232	1,451	0	0	0		
	事業費 12 10+11)	千円	107,052	109,600	92,850	112,101	90,411	103,159		
	位当たりコスト 13 2-6)÷1)	円	1,372,462	1,217,778	2,579,167	1,868,350	2,318,231	1,719,317		
	受益者負担分 14	千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等 15	千円	0	0	0	0	0	0		
財	都からの補助金等 16	千円	20,463	21,969	21,827	22,275	22,025	23,289		
源	その他の補助金等 17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	千円	20,463	21,969	21,827	22,275	22,025	23,289		
	差引:一般財源 19	千円	86,589	87,631	71,023	89,826	68,386	79,870		
	益者負担比率 20 4÷12)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度 事業実施状況(Do)

整理番号 168

マから十尺十	未关心がん(DO)			100
	内容	規模	単位	事業費(千円
	長寿応援ポイント事業業務委託			38,4
主な取組	商品券の購入			28,50
	ポイントシール台紙、ポイントシール、有効期限周知用チラシ印刷等			1,19
	長寿応援ポイント事業活動認定会議等の開催	6		-
	その他(電子複写機賃貸借・保守、消耗品購入ほか)			9,68
事業実績	令和3年度末の登録活動数は1,350件で、令和2年度末の1,415件から 長寿応援ファンドを活用し、高齢者の健康づくりや、誰もが住みや して、3団体に助成を行いました。			

令和 3年度 評価と課題(Check)

事業	開始当	初から	現在
まで	の環境	の変化	ی
事業	こ対す	る意見	(期
待・	要望・	苦情な	ど)

事業開始年度である平成21年10月の区内65歳以上人口は103,024人でしたが、令和4年4月現在では1 20,170人に増加しています。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で近年活動は減少しています。

高齢者の活動参加へのポイント配布については、「参加意欲が向上する」「新規参加者を活動へ誘うさっかけとなった」等の声が届いています。その一方で、ポイント取得を前提としたボランティア活動に対する疑問や、事業の効果が見えにくいという意見も寄せられています。

また、長寿応援ファンド助成を受けた活動団体からは、「事業実施の環境が整ったことで、充実した活動ができた」等の評価を得ています。

事業の今後(3~5年) の予測と方向性

高齢化社会においては、高齢者が地域活動への参加を通して共に支えあい、いきいきとした高齢期を過ごすことができる社会を目指す取り組みが必要となります。本事業についても、地域包括ケアシステムの枠組みの中で、より一層介護予防や地域貢献活動を促進する事業となるよう、事業の見直しを進めます。

計画(目標値)に対す る実績 (指標の分析等)

令和3年度末の登録活動数は、1,350件(新規39件)となりました。登録活動数については、新型コロナウイルス感染症の影響により活動ができず、登録を廃止した団体が73件あり新規登録数を上回りました。

評価と課題

平成21年度の事業開始以来、登録活動数は増加を続けてきましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少に転じ、令和3年度も同様に減少しました。

本事業の開始により、様々な地域活動が行われるようになった一方で、参加者の固定や事業の効果が見えにくい等の課題もあります。

また、地域に貢献する公益的な活動や、様々な世代を支援する活動に対して助成を行う長寿応援ファンド助成については、申請数、助成活動数ともに減少傾向にあります。

今後の高齢化社会を見据え、ポイント交換の仕組み等が、より公平で効果的なものになるよう、見 直しを進めます。

予算の方向性	I 事業コストの方向性	現状維持
(見直しの視点)	事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・対象の見直し
予算の方向性の理由・ 内容		定の今後の影響次第で、登録活動数や参加者数の増減が見込まれますが、 続き課題を整理しながら事業の見直しを進め、また、長寿応援ファンドに 見直しを行います。

(00225)

事務事業名称	高齢者活動支援センターの維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	012	整理番号	216	
現担当課名	高齢者施策課		係名	<mark>係名</mark> 施設担当係				連絡先 電話番号 1153			3	昨年度 整理番号	230	
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援									予算	事業	区分	既定事	業	
事業開始	昭和58年度													
令和 3年度 担当課名	高齢者施策課								事業	評価	区分	一般		

令和 3年度 事務事業の概要(Plan)

<u> マ和 3年段 事務事業の慨安(PIa</u>	n)	
対象 高齢者活動支援センター、高齢者ゲートボール場	根拠 (1)	老人福祉法第4条、第5条の3、第15条、第20条の7
	等 (2)	杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者活動支援センターを運営し、高齢者の生涯現役 の地域拠点として社会参加の拡充を図る。 高齢者の自主的団体活動を支援し、新たな生きがい作	活動指標 指標名(1)	高齢者活動支援センター登録団体数
高齢者の自主的団体活動を支援し、新たな生きがい作りや仲間作りを促進し、元気高齢者の増加に寄与する。 スポーツ活動(ゲートボール)を通して高齢者の社会 参加の機会を拡充し、元気高齢者の増加を図る。	指標說明 指標名(2)	団体利用回数
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	指標説明	
○60歳以上の区民の福祉の増進を図るため、各種相 談や健康増進、介護予防、教養の向上、レクリエー ションに関することのほか、生きがい活動の支援や 多世代との交流を実施するために設置された高齢者	成果指標 指標名(1)	高齢者活動支援センター利用率
活動支援センターの維持管理を指定管理者により行	指標説明	講座室等利用回数÷利用可能枠数
っ 高齢者ゲートボール場を管理・運営する。	指標名(2)	ゲートボール場利用率
	指標説明	利用回数÷利用可能枠数

指標、総事業費・コスト把握(Plan・Do)

<u>1</u> E	<u>「標、総事業賃</u>	<u> </u>	<u> </u>	<u>くト把握</u>	(PI	<u>a n • l</u>	<u>) </u>				
	区分		単位	令和元年度	令和 2	2年度	令和	3年度	令和 4年度	令和 3年度	
	区方			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活	動指標(1)	1	団体	75	80	82	80	57	80	71.3	100.0
活	動指標(2)	2	回	2,697	2,800	1,676	2,500	2,234	2,500	89.4	
成	果指標(1)	3	%	69.4	85.0	51.2	70.0	53.8	70.0	76.9	
成	果指標(2)	4	%	49.3	60.0	60.0 44.9		41.7	50.0	83.4	
事	業費	5	千円	65,620	65,999	65,989	65,977	65,963	71,263	特記	事項
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0		
	(内)委託費	7	千円	65,560	65,895	65,893	65,893	65,892	71,104		
職	常勤職員数(再任用含)	8	人	0.53	0.40	0.47	0.40	0.41	0.40		
員数	上記以外の職員	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	้อ	
人	常勤職員分(再任用含)	10	千円	4,621	3,487	3,996	3,401	3,421	1,984		
件費	上記以外の職員	11	千円	0	0	0	0	0	0		
	事業費 10+11)	12	千円	70,241	69,486	69,985	69,378	69,384	73,247		
	位当たりコスト ²⁻⁶⁾ ÷1)	13	円	936,547	868,575	853,476	867,225	1,217,263	915,588		
	受益者負担分	14	千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15	千円	0	0	0	0	0	0		
財	都からの補助金等	16	千円	0	0	0	0	0	0		
源	その他の補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円	0	0	0	0	0	0		
	差引:一般財源 (12-18)	引:一般財源 19 千円 2-18)		70,241	69,486	69,985	69,378	69,384	73,247		
	益者負担比率 4÷12)	20	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度 事業実施状況(Do)

整理番号 216

マから十反・尹	未 天加仏兀(D0 <i>)</i>		12.73	-ш 5	210	
	内 容	規模	単位	事業費 ((千円)	
	運営管理(指定管理者)			6	65,579	
	建物管理委託			3		
主な取組	賃借料の支出				55	
	ゲートボール場清掃等委託				280	
	その他(光熱水費、消耗品購入費など)				16	
事業実績	高齢者活動支援センターの利用者のため、電位治療器の借り上げ及 高齢者ゲートボール場の利用者が快適に使用できるように便所清掃 維持管理を行いました。	なび保守管理を まや樹木剪定等	行いまし ゲートボ	た。 ・ ・ ル場の	D	

令和 3年度 評価と課題(Check)

事業	開始	当初	から	現在
まで	の環境	竟の	変化	۲
事業	に対	する	意見	(期
待・	要望	・苦	情な	ど)

高齢者活動支援センターは昭和58年の開設後、隣接する杉並清掃工場の建替工事に伴い、大規模改修工事を実施し、平成24年5月からはより効果的かつ効率的な運営の下、利用者がより一層利用しやすい施設とするため指定管理者制度を導入しました。また、平成29年度には、はつらつルームを保育室に転用しています。利用については、高齢者団体から行政が講座室・多目的室を使用する頻度が高いとの意見が寄せられました。

高齢者ゲートボール場登録団体数は平成12年度の29団体をピークに減少し、令和3年度末では7団体となっています。利用者からはグランドの整備や樹木剪定等の要望が寄せられました。

事業の今後(3~5年) の予測と方向性

高齢者活動支援センターの利用率は、かつては70%前後の水準で推移していましたが、今後もコロナ禍が終息するまでの間、50%前後で推移することが見込まれます。

高齢者ゲートボール場登録団体数は、利用者の高齢化が進み、ゲートボール人口の増加が見込まれないことから、今後も減少していくものと見込まれます。

計画(目標値)に対す る実績 (指標の分析等)

高齢者活動支援センターの利用率は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国が発した緊急 事態宣言や都に対するまん延防止等重点措置などがあり、開館時間を午後8時までに短縮したり、部 屋の利用人数をおおむね1/2とした時期があり、令和2年度よりも増加したものの、目標値を下回りました。

ゲートボール場の利用率については、利用時間の短縮等はありませんでしたが、コロナ禍で利用団 体等が活動を自粛したこともあり、目標値を下回りました。

評価と課題

各講座室と多目的室の稼働状況は合わせて54%の状況で稼働し、中でも多目的室は72%の稼働率ですが、コロナ禍もあり、その率はほぼ横ばいとなりました。各講座室と多目的室は高齢者団体の使用が半数以上を占め、高齢者のいきがい活動等の支援に寄与しています。また、特に指定管理者が実施する高齢者のための各種講座は好評を得ており、今後も各講座室や多目的室の団体利用とともに地域活動の拠点となるよう、指定管理者と区の連携の強化を図りながら円滑な運営に取り組みます。

高齢者ゲートボール場については、高齢者の健康維持に寄与していますが、利用が一部の人にに限られ、また利用団体数は減少傾向にあります。利用状況を確認しながら、今後の施設のあり方について検討を進めます。

<u>令和 5年度の方針(Action</u>)

予算の方向性	事業コストの方向性	現状維持
(見直しの視点)	手段・方法の見直し(改善)・実施主体の見直し	
予算の方向性の理由・ 内容	参加の充実を図る事業等に 高齢者ゲートボール場の	では、利用者の意見に基づく利用方法の改善や地域活動の拠点として社会ついて、指定管理者と引き続き協議・検討を行います。 使用については、一部の利用者に限られ、また、その利用団体数は減少傾いきがい活動を支援するため、平成5年度も施設の維持管理を行います。

(00226)

事務事業名称	ゆうゆう館等の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	013	整理番号	217	
現担当課名	高齢者施策課 「係名」 施設担当係						<mark>連絡先</mark> 1153 電話番号		昨年度 整理番号	231				
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援								-	予算	事業	区分	既定事	業	
事業開始	昭和38年度													
令和 3年度 担当課名	高齢者施策課				•			1	事業語	評価	区分	施設約	註持管理	

令和 3年度 事務事業の概要(PLan)					
<mark>対象</mark> ゆうゆう館	根拠 (1)	杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例			
	等 (2)	老人福祉法第4条			
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	活動指標 指標名(1)	年間延べ利用者数			
元気な高齢者の声が響き渡る地域社会が形成できるよう、生涯現役社会の地域拠点として、ゆうゆう館が高齢者のみならず地域住民の「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」「憩い」の場として幅広く活用されるようにする。	指標説明	利用団体数(高齢者活動登録団体)			
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	指標名(2) 指標説明	13/11 CHR CHANGSAUFF)			
利用者がゆうゆう館29館を安全かつ快適に利用で きるように維持管理を行う。	成果指標				
	指標名(1) 指標説明				
	指標名(2)				
	指標説明				

指煙 総事業費・コスト把握(Plan・Do)

1	<u>1倧、総事業員</u>	<u> </u>	<u> </u>	<u>くしに控</u>	(PI	<u>a n • </u>	<u> </u>				
	区分		単位	令和元年度 令和 2年度 令和		令和	3年度	令和 4年度	令和 3年度		
				実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活	動指標(1)	1	人	395,007	460,000	186,749	230,000	242,151	300,000	105.3	94.4
活	動指標(2)	2	団体	1,155	1,150	1,125	1,150	980	0	85.2	
成	果指標(1)	3									
成	果指標(2)	4									
事	業費	5	千円	75,690	181,129	164,298	65,760	62,051	96,550	特記 令和3年度の	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	積が令和2年 62.2%減とな	F度に比べ
	(内)委託費	7	千円	31,942	130,284	120,473	29,410	28,333	52,159	、令和2年原	度にゆうゆ 児童青少年
脚		8	人	1.93	1.60	1.84	1.60	1.66	1.60	センターへ	の増築移転たためです
員数		9	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
人件	常勤職員分(再任用含)	10	千円	16,826	13,949	15,646	13,605	13,849	11,996		
費	上記以外の職員	11	千円	616	616	726	726	735	735		
	事業費 -10+11)	12	千円	93,132	195,694	180,670	80,091	76,635	109,281		
	<u>位当たりコスト</u> ²⁻⁶⁾ ÷1)	13	円	236	425	967	348	316	364		
	受益者負担分	14	千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15	千円	0	0	0	0	0	0		
財	都からの補助金等	16	千円	0	0	0	0	0	0		
源	その他の補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円	0	0	0	0	0	0		
	差引:一般財源 (12-18)	19	千円	93,132	195,694	180,670	80,091	76,635	109,281		
	益者負担比率 4÷12)	20	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 3年度 事業実施状況(Do)					217
	内 容	規模	単位	事業費	(千円)
	光熱水費の支出	29	館		27,512
主な取組	施設保守管理委託	29	館		19,749
	消耗品購入、修繕、家屋等修繕	29	館		4,185
	電話料金	29	館		2,958
	その他(物品・機器リース、物品保守委託、負担金の支出ほか)				7,647
事業実績	ゆうゆう館の利用者が安全かつ快適に利用できるように、施設保守 老朽化した設備の修繕や物品の買い替えを行いました。	- 『管理委託など	を行うと	ともに	•

令和 3年度 評価と課題(Check)			
事業開始当初から現在 までの環境の変化と 事業に対する意見(期 待・要望・苦情など)			
事業の今後(3~5年) の予測と方向性			
計画(目標値)に対す る実績 (指標の分析等)			
評価と課題	ゆうゆう館の施設・設備の維持管理を行うことで、利用者が安全かつ快適に施設を利用することに 貢献できました。しかし、ゆうゆう館の半数以上が築40年以上を占めていることから、老朽化に伴い 施設維持に必要な修繕が増えてきています。今後も杉並区区立施設再編整備計画に伴うコミュニティ ふらっとへの機能継承の進捗状況を確認しながら、優先して修繕する建物及び設備を精査し、引き続 き利用者が安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を行います。		

予算の方向性 (見直しの視点)	事業コストの方向性	縮小
	事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・対象の見直し
予算の方向性の理由・ 内容	もその修繕や保守点検を的で また、令和5年度中にゆう	以上を占め、建物や設備の老朽化が進んでいますが、令和5年度において確に行い、施設の維持管理を行います。 ゆう天沼館及びゆうゆう方南館を閉館し、それぞれ、(仮称)コミュニ 弥)コミュニティふらっと方南に集約されるため、令和4年度に比べ、令 访方向になります。